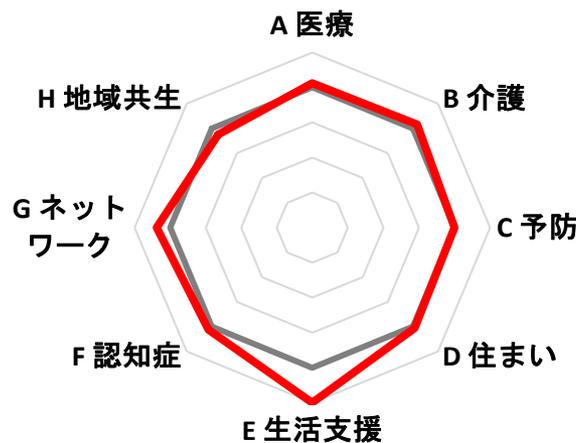


時津町 地域包括ケアシステムの推進状況

レーダーチャート



基本情報(R6.3.31現在)

総人口	29,268人
高齢者数(率)	8,012人(27.37%)
後期高齢者数(率)	4,209人(14.38%)
要介護認定率	11.32%
要支援認定率	5.28%

時津町の特徴、地域包括ケアシステム推進に向けた主な取組

- 第2層協議体が全ての小学校区に設置されており、住民主体の生活支援の取組が積極的に行われている。
- 介護施設における感染症対策について、平常時からの連絡体制の整備、町としてのBCP研修の実施など、必要な助言や指導を行っている。

自己評価シート A~H分野に時津町としての課題認識

【A 医療】

・円滑な入退院支援のため、隣接市町との広域的に統一されたツールを作成する等の対策が必要。

【B 介護】

・若い担い手の確保は、町単独の取組としては限界があり、県全体として介護現場で働くメリット等を普及してもらうなど、連携し合う必要があると感じている。

【C 保健・予防】

・医療・介護サービス以外の部分で、地域住民が、支えあう形でボランティア活動や居場所づくりを行うなど住民の主体的な活動に力を入れている。

時津町 地域包括ケアシステムの推進状況

自己評価シート A～H分野における時津町としての課題認識

【D 住まい・住まい方】

・リハ職の視点で見た住宅改修の評価やケアプラン点検について、力を入れていく。

【E 生活支援・見守り等】

・運転免許を持たない高齢者に対し、交通環境を維持していくためには、有償ボランティア等による移動支援等の対策が必要。

【F 認知症・権利擁護】

・中核機関の施策にかかる検討や、高齢者虐待、権利擁護における成年後見制度の町長申立、保険者機能強化について進めていく。

【G 市町と関係者・団体のネットワーク】

・重層的支援及び共生社会構築の視点から、子育て支援や障害者支援の団体とも連携していく必要がある。

【H 地域共生社会の実現と住民参画】

・成年後見関係の庁内調整が課題。重層的支援では、申請や実績報告などの枠組み・仕組み部分に難しさがある。

時津町として考える一番の課題認識

○今後も高齢者が増加するので、医療・介護サービス、地域関係団体等と連携しながら、在宅でできることを意識して、各分野の取組を進めていく。

ヒアリングを終えて県が認識した時津町の課題

○医療・介護連携において、長崎市・長与町との広域的な連携体制づくりに向け、保健所・医師会等と連携しながら検討していく必要がある。

○地域ケア会議について、通所Cの対象者選定(入口)から卒業時の地域へのつながり(出口)などが自立支援となっているかディスカッションができるよう、課題分析や好事例の共有などを行いながら、会議の方向性を再確認する必要がある。

○認知症に対する理解を広めるとともに、中核機関の設置など、権利擁護の取組や成年後見制度の利用をさらに推進していく必要がある。